

第3次吉川市食育推進計画 令和7年度進捗管理

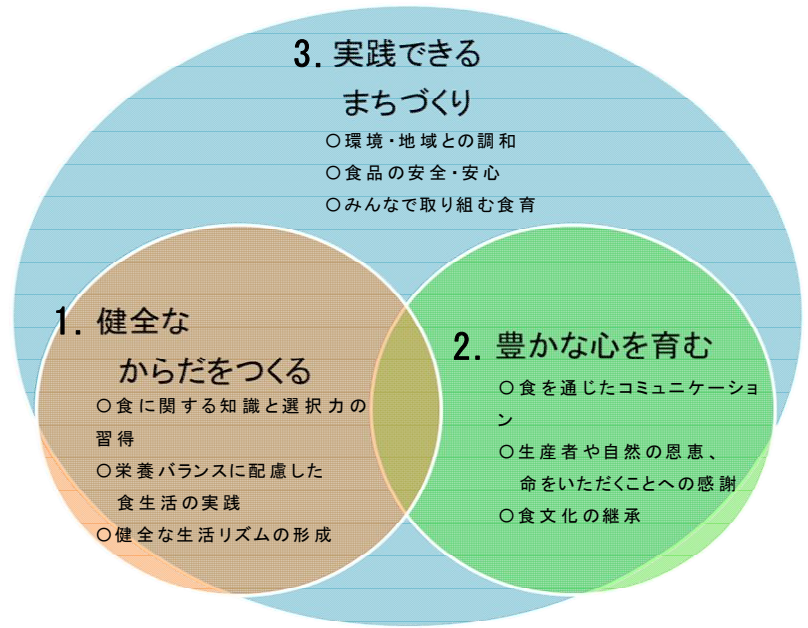
1 基本理念、基本目標

○基本理念

市民一人ひとりが生涯にわたり健康で心の豊かさを実感できるくらしの実現
— 食を通じた幸福実感を —

○基本目標

- (1) 健全なからだをつくる
- (2) 豊かな心を育む
- (3) 実践できるまちづくり



2 令和7年度 実施状況

各項目の取り組み対象者は○、そのうち令和7年度実施した対象は●とした

基本目標 1

健全なからだをつくる

(1) 食に関する知識と選択力の習得

令和7年度新規実施または変更部分は黄マーカー

主な取り組み	内容	対 象						令和7年度の実施状況
		妊	乳	就	青	中	高	
吉川版食事バランスガイドの普及 ^{HP}	各ライフステージに対応した吉川版バランスガイドを各家庭に配布し、普及・啓発を図ります。	●	●	○	●	●	●	乳幼児健診やパパママ学級、特定保健指導などあらゆる場面で活用し、普及した。
保健指導の充実	一人ひとりの健康状態や生活に合わせた実践に結びつく保健指導を行います。	●	●	○	●	●	●	・特定健診、生活習慣病予防健診の結果に基づき実施 ・乳幼児健診にて、必要時には親子双方へ指導を実施
食に関する知識の啓発 ^{HP}	広報やホームページで、食に関する知識や食品を選ぶ力をつけるための情報を発信します。	●	●	●	●	●	●	広報6月号に食育月間として記事を掲載

(2) 栄養バランスに配慮した食生活の実践

主な取り組み	内 容	対 象						実施状況等
		妊	乳	就	青	中	高	
各ライフステージに応じた栄養指導の充実	吉川版食事バランスガイドをもとに個人にあった健全な食生活が送れるよう、パパママ学級や乳幼児健診、特定健診やその他健診受診者への栄養指導を充実します。	●	●	○	●	●	●	内容通り実施

3) 健全な生活リズムの形成

主な取り組み	内 容	対 象						実施状況等
		妊	乳	就	青	中	高	
学校栄養職員による食育指導	学校栄養職員による栄養バランスに配慮した食生活の重要性や、偏った食事の弊害、自分に合った食事量をとることの啓発を図ります。			●				市内小学校が任意に選出する2学年及び市内中学校が任意に選出する1学年（栄養教諭・学校栄養職員の所属校は全学年）に対し年1回、学年により市内統一テーマで食育指導を実施
栄養バランスに配慮した食生活を実践するための講座の開催	栄養バランスの重要性と実践の仕方について啓発を図ります。	○	○	○	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり実践講座 1回 健康講座 1回 食生活を考える会自主活動 3回
高齢者配食サービスの実施	ひとり暮らしの高齢者などに栄養バランスに配慮した昼食又は夕食を配食します。						●	内容通り実施
生涯を通じた「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進	小中学校で取り組んでいる「早寝・早起き・朝ごはん」運動を広く市民に広めます。	●	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 「子どもが作れる簡単！おいしい!!!朝ごはんコンテスト」の開催。優秀作品は子ども料理教室や広報等で周知予定 市立保育所では、「朝うんち」も目標に取り組んでいる
乳幼児健診における保健指導の充実	生活リズムが子どもの体や脳の成長発達に重要であることを、乳幼児健診の保健指導で伝えていきます。		●					内容通り実施
各種健康診査の受診率の向上	規則正しい食生活と健康の関係を認識する機会として、健康診査の受診の必要性を啓発します。	○			●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診受診率 R5年度：43.1% R6年度：44.1%
8020運動の推進	歯科健診の受診や歯科保健指導により高齢になっても自歯でおいしく食事ができるように歯科口腔保健の推進を図ります。						●	・吉川市8024よい歯のコンクール実施

(1) 食を通じたコミュニケーション

主な取り組み	内 容	対 象						実施状況等
		妊	乳	就	青	中	高	
「みんなで食べる食育の日」の推進 ^{HP}	毎月19日を食育の日として、家族や友人などでの食事を奨励します。	●	●	●	●	●	●	広報6月号に食育月間として記事を掲載
「4つの食(輪・話・和・環)」の啓発 ^{HP}	皆で楽しく食卓を囲むことで、豊かな心を育み、食におけるマナーや食文化(家庭料理や伝統料理など)、環境との調和について、継承していけるよう情報提供します。	●	●	●	●	●	●	ホームページに掲載

(2) 生産者や自然の恩恵、命をいただくことへの感謝

主な取り組み	内 容	対 象						実施状況等
		妊	乳	就	青	中	高	
農業体験の機会の充実	保育所や幼稚園での菜園活動を通じて、収穫の喜びや自然の恵み、食物の大切さを学ぶ機会を提供します。		●					・調査に対し回答のあった市内6か所中5件で実施。畑がなくても地元農家と協力し、作物の収穫体験を実施する所もあり。
	小中学校での学校ファームを継続し、食物への関心を高めるとともに生産者への感謝の気持ちを育てます。			●				・市内小中学生が市内農家の協力でオクラや玉ねぎの植え付け、収穫、バジルの菜摘等を体験し、収穫物を学校給食で提供 ・市内小学校2年生の授業で1人1鉢作物を栽培
	市民農園やグリーンファームの利用を促進し、市民が農業体験する機会を提供します。			●	●	●	●	・体験田植え、体験稲刈り ・じゃがいも植え付け、収穫体験(3月実施予定)
命をいただくことへの感謝の気持ちを育てる	命ある動植物をその場で調理し味わうなど、自然の恵み・生産者への感謝の気持ちを育てる機会を提供します。			●				・市内小学校で、総合的な学習の時間においてなまずの学習(生態や歴史の学習、ふれあい体験、なまず料理の実演見学・試食など)を実施。 ・小中学校給食だより秋号に感謝の気持ちを込めたあいさつや食べ方について掲載

(3) 食文化の継承

主な取り組み	内 容	対 象						実施状況等
		妊	乳	就	青	中	高	
給食における行事食や伝統食の提供	伝統的な食文化を継承するため、行事食や伝統食を提供します。		●	●				<ul style="list-style-type: none"> ・なまずの日にちなんだなまず献立を提供 ・保育所では給食提供時、行事食の由来など話をするところもあった
たべものだより・給食だよりの発行 ^{HP}	保育所・幼稚園や小中学校でたべものだより・給食だよりを発行し、食事のマナーを学んだり、食育への関心が高まるよう働きかけます。また、家庭でも作れるようレシピなどの情報を提供します。		●	●				<ul style="list-style-type: none"> ・調査に対し回答のあった市内6か所中5件でたよりを発行 ・小中学校にて内容通り実施

基本目標3

実践できるまちづくり

(1) 環境・地域との調和

主な取り組み	内 容	対 象						実施状況等
		妊	乳	就	青	中	高	
食品ロスの削減のための啓発	広報などで食品ロス削減のための啓発を行うとともに、毎月19日（食育の日）には冷蔵庫の中身チェックなど具体的な実践方法を呼びかけていきます。	●		●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・広報6、10月号に掲載 ・ホームページに掲載 ・消費者庁「SNS媒体を活用した食品ロス削減啓発プロジェクト」に参加し、10月30日にLINEとXでメッセージ発信
吉川産農産物やブランド農産物のPR ^{HP}	よしかわフェア、農業まつり品評会などのイベントを通じて吉川産農産物やブランド農産物をPRし、地産地消を促進します。	●		●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・広報6月号に吉川ねぎを掲載 ・よしかわマルシェ（吉川産農産物販売等）の実施
農産物直売所のPR ^{HP}	吉川産食材の購入できる商店や直売所、吉川産食材を食べられる飲食店をマップなどにより広くPRします。	●			●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・「吉川市農産物販売マップ」をホームページに掲載するほか、イベントや窓口等で配布 ・産直ウォーキングの開催（3月実施予定）
吉川産食材取り扱い店のPR ^{HP}								
給食における吉川産食材の活用	給食に吉川産食材を活用し、地産地消を推進するとともに、子どもたちの吉川産食材への理解を深めます。		●	●				給食だより夏号、秋号に吉川市で作られている野菜や地産地消について掲載

(2) 食品の安全・安心

主な取り組み	内 容	対 象						実施状況等
		妊	乳	就	青	中	高	
食の安全・安心に関する情報の普及・啓発 県HP	食の安全・安心に関する情報を提供し、市民が「食」を正しく選択できるよう普及・啓発を図ります。	●		●	●	●	●	・県ホームページのリンクを市ホームページに掲載
衛生指導の充実	食事前の手洗いや調理中などの衛生管理について指導を充実します。	○	●	●	○	○	○	・小中学校給食だより冬号に手洗いのポイントについて掲載予定 ・小中学校のクラスや委員会活動で手洗いチェッカーやATP拭き取り検査等を実施し、給食配膳時における衛生管理について指導
安全・安心な給食の提供	安全な食材を活用し、調理工程の衛生管理に努め、子どもの健康に配慮します。また、食物アレルギーに対応した給食も提供します。			●	●			内容通り実施
特別栽培農産物の普及・啓発 HP	減農薬や有機肥料栽培の特別栽培農産物を普及・啓発します。	●		●	●	●	●	・特別栽培米「吉川のしずく」について HP に掲載

(3) みんなで取り組む食育

主な取り組み	内 容	対 象						実施状況等
		妊	乳	就	青	中	高	
食育ボランティアの募集・育成	食育活動に関わるボランティアを募集・育成し、活動を支援します				●	●	●	内容通り実施
生涯学習人材バンクへの登録推進 HP	食育活動を行う人・団体の生涯学習人材バンクへの登録を推進するとともに広く市民への周知を図ります。				●	●	●	内容通り実施

主な取り組み	内 容	対 象						実施状況等
		妊	乳	就	青	中	高	
食や健康に関する情報発信の場の提供	学校給食センターを活用し、衛生管理や吉川の食の歴史、体験型栄養学習システムを活用した栄養バランスチェックなど食に関して学ぶ機会を提供します。			●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食で行事食や特徴ある献立提供日には放送用資料を配布し、給食時間の校内放送で情報発信 教育委員会公式 X を活用し、市民へも広く情報発信 大人の社会科見学の実施
	市立図書館において食育に関するイベント等を開催し、食や健康に関する本を紹介するなど、情報を広く発信します。	●	●	●	●	●	●	5月末～7月末まで食育に関する図書の展示
	保健センターに食育コーナーを設置し、食育に関する情報を発信する拠点として整備します。	●	●	●	●	●	●	・内容通り実施
料理体験の機会の充実	保育所・幼稚園でのクッキング保育を継続します。		●					<ul style="list-style-type: none"> 調査に対し回答のあった市内6か所中4件で調理体験を実施。収穫した野菜を活用する体験が多かった。 市立保育所では芋煮会で年齢に応じた菜切、カレーの日の菜切、おにぎり作り、クッキー作り等のクッキング保育を実施
	公民館などで長期休暇を利用した子ども料理教室などを開催し、料理体験の機会を増やします。			●				<ul style="list-style-type: none"> 8/9「子ども料理教室」を実施 10/18「親子おにぎり作り教室」を実施 3月下旬、子ども料理教室（朝ごはんを作ろう）を実施予定
	公民館などで初心者料理教室などを企画し、調理技術を身に付ける機会を提供します。	○			●	●	●	・2/14「和菓子づくり教室」を実施予定
家庭食や伝統食の普及	家庭食や吉川の伝統食を紹介し、普及を図ります。	●	●	●	●	●	●	・吉川版バランスガイドをもとに作成したレシピ集にてなまぎれを使った料理を紹介
情報発信の充実	食育にかかわる様々な情報を適した情報発信ツールを活用し周知します。 HPマークのある取組については、QRコード等を活用し周知します。	●	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 子ども料理教室の周知・申込を電子申請にて実施 小中学校の給食だより4月号に本計画掲載ページのQRコードを掲載 教育委員会公式 X を活用し、給食センターの取組を発信

3 ～みんなでできること～ 令和7年度 認知度・実践状況調査結果

以下のイベントの参加者にアンケートを実施（※イベント参加意欲のある集団である）

質 問		成人	令和6年度 との比較
Q1	食育推進のため、「みんなでできること」が設定されていることを知っていましたか？	8%	↓
Q2	以下のうち、普段から実践しているものに○をつけてください		
	・早寝・早起し、朝ごはんを食べるようにします。	69%	↓
	・年に1度、健康診断を受けます。	95%	↑
	・広報や市ホームページなどを活用し、食に関する情報を収集します。	28%	↓
	・家族や友人等と一緒に食事をする機会を持ちます。	97%	↑
	・会食する時は、会話する等食事を楽めます。	95%	↑
	・手元に届くおたよりに目を通します。	85%	↓
	・食品ロスを減らすよう工夫します。	87%	→
	・安心・安全な作物が収穫できるよう、農地にゴミを捨てないようにするなど、農地を大切にします。	82%	↓
	・「やってみたい」と思った時は、方法を調べてみます。	85%	↑

回答者内訳

・パパママ教室

・健康測定会

・健康づくり実践講座

合計:成人39人

4 目標達成のための指標のうち、「朝食を欠食する子どもの割合の減少」に係る参考値

目標達成のための指標

基本目標	指標項目	R 5年度 現状値	目標値	参考値
健全なからだをつくる	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日する人の割合の増加	38.3%	50%	
	朝食を欠食する子どもの割合の減少 ○ 小学生 ○ 中学生	1.6% 2.3%	0.5%未満 1.0%未満	
	朝食を欠食する20～30歳代の割合の減少	18.0%	10%以下	
	健康診断を毎年受ける人の割合の増加	72.7%	75%	
豊かな心を育む	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加 (小学生・中学生・保護者・一般成人)		11回以上	
実践できるまじゅくり	学校給食における吉川産野菜を使用する割合の増加(金額ベース)	20.6% R4年度実績	20%	
	食品ロスのために何かしらの行動をしている人の割合の増加	—	80%	
	食育に関心を持っている人の割合の増加	82.0%	90%	
	食育を実践している人の割合の増加	45.0%	60%	

※全国学力・学習状況調査の結果

【朝食を毎日食べている者の割合】

	吉川市	埼玉県	国	
小学6年生	令和6年度	93.4%	94.3%	93.7%
	令和5年度	92.6%	94.4%	93.7%
	令和4年度	93.1%	94.8%	94.4%
	令和3年度	96.1%	95.5%	94.9%
	令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止		
	令和元年度	95.7%	96.1%	95.3%
中学3年生	令和6年度	88.9%	91.7%	91.2%
	令和5年度	91.3%	91.7%	91.2%
	令和4年度	90.3%	92.2%	91.9%
	令和3年度	90.9%	93.0%	92.8%
	令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止		
	令和元年度	91.6%	93.6%	93.1%

【就寝時刻が一定の者の割合】

	吉川市	埼玉県	国	
小学6年生	令和6年度	82.0%	83.9%	81.9%
	令和5年度	82.7%	84.5%	82.9%
	令和4年度	83.3%	83%	81.5%
	令和3年度	84.6%	83.2%	81.2%
	令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止		
	令和元年度	83.5%	84.6%	81.4%
中学3年生	令和6年度	79.0%	81.7%	81.0%
	令和5年度	79.7%	81.0%	80.7%
	令和4年度	79.2%	80.6%	79.9%
	令和3年度	78.7%	80.4%	79.8%
	令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止		
	令和元年度	77.8%	80.0%	78.0%

【起床時刻が一定の者の割合】

	吉川市	埼玉県	国	
小学6年生	令和6年度	91.7%	91.9%	91.0%
	令和5年度	91.4%	92.3%	91.6%
	令和4年度	90.1%	91.2%	90.4%
	令和3年度	91.6%	91.4%	90.4%
	令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止		
	令和元年度	92.1%	92.7%	91.6%
中学3年生	令和6年度	93.3%	92.8%	92.6%
	令和5年度	92.6%	92.5%	92.5%
	令和4年度	88.1%	91.7%	92.2%
	令和3年度	91.6%	92.1%	92.7%
	令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止		
	令和元年度	93.9%	92.7%	92.8%

5 今後の課題と取り組み

【基本目標1 健全なからだをつくる】ために早寝・早起き・朝ごはんの取り組み強化

イベント参加者のアンケートや小中学生の全国学力・学習調査の結果から、実践している者の割合が減少傾向にある。遅い起床は、朝食欠食につながるほか、食事時間が後ろ倒しになり、必要以上の体重増加につながるなど、健康に支障をきたすこともある。パパママ学級や乳幼児健診等、生活リズムが確立される就園前の指導を強化するとともに、全世代に向けた情報の発信をしていきたい。

【基本目標2 豊かな心を育む】ために農業体験の機会を充実

イベント参加者のアンケートでは、「農地を大切にします」の項目が前年度よりポイント減となっている。また、同アンケートの自由記載には「農業体験に参加してみたい」と回答する者もいた。実際に体験することで、自然の恵み・生産者への感謝の気持ちを育てる機会にもなり、また、食べ物を大切にしようとする気持ちから、食品ロスの削減や農地を大切にすする行動へのつながりも期待できる。

現在、小中学校や保育所・幼稚園でさまざまな取り組みが行われているほか、田植え・稲刈り体験やじゃがいも植え付け・収穫体験も実施している。より多くの人に体験機会を増やすため、庁内外の連携を深め、「収穫から調理まで」のような新たな事業を検討していく。

【基本目標3 実践できるまちづくり】のために学校給食を活用した情報発信する場の提供

この目標では食育に取り組むための基礎的な知識を身に付けるための取り組みを実施している。その手段の一つに学校給食がある。しかし、入学に際し、食べ慣れていない食材や味付けに戸惑いを感じたり、給食配膳作業や決められた時間内での喫食など不安を募らせる子どもや保護者は多い。各家庭において不安要素を取り除くきっかけづくりとして、学校給食を体験する機会を設けるなど切れ目ない食育支援をするため、健康増進課と給食センターで検討していく。